



お知らせ

記者発表資料	平成31年4月1日
配布日時	14:00

- 同時発表先
中国地方建設記者クラブ

平成31年度 入札・契約制度に関する説明会(港湾空港関係)を開催します

1. 目的

中国地方整備局港湾空港部では今般、入札・契約手続きにおける透明性・公平性の確保、技術力が十分発揮できる競争環境の確保及び手続きにおける受発注者双方の負担軽減等を図ることを目的として、入札・契約制度の一部を見直すこととしました。

つきましては、以下のとおり、入札・契約制度に関する説明会を開催しますのでお知らせします。

なお、従来より開催していた工事に関する説明会に加え、今回あらたに業務に関する説明会も開催いたします。

2. 開催日時及び説明内容等

① 工事に関する説明会

- ・開催日時：平成31年4月11日（木）14:00～15:00
- ・説明内容：平成31年度 工事の入札・契約の対応方針ほか
- ・受付開始：13:40

② 業務に関する説明会

- ・開催日時：平成31年4月11日（木）11:00～12:00
- ・説明内容：平成31年度 業務の入札・契約の対応方針ほか
- ・受付開始：10:40

3. 会 場 中国地方整備局 港湾空港部 会議室
(広島市中区東白島町14番15号 NTTクレド白島ビル13階)

4. 定員等 各70名(参加費無料)

5. 申込み方法等 別紙のとおり

【問い合わせ先】

国土交通省 中国地方整備局 港湾空港部

電話番号 082-511-3927 (直通)

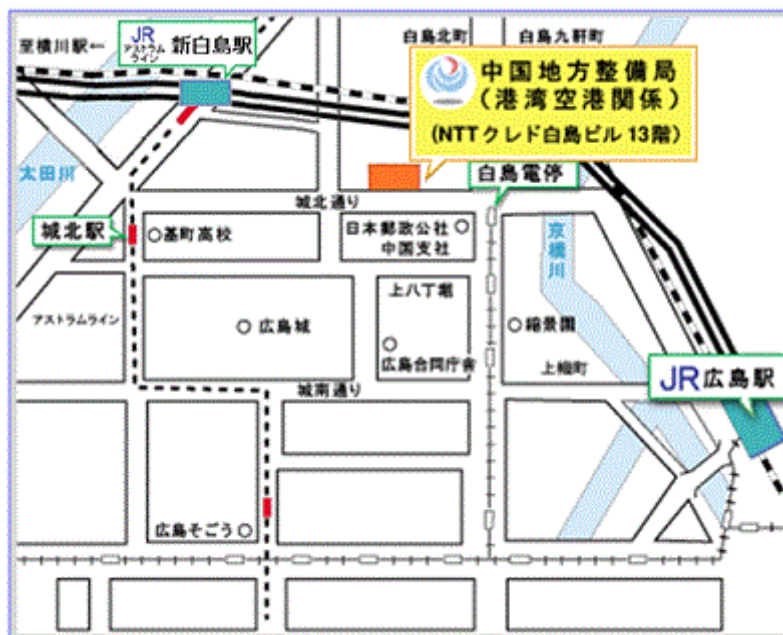
品質確保室 室 長 市田 輝喜
課長補佐 小野 史博

●申込み方法等

- ・ 事前申し込みは不要です。参加をご希望の方は当日、会場受付に名刺をお渡しの上、ご入場ください。
- ・ 会場の収容人数に限りがありますので、参加者は企業1社あたり3名までとさせていただきます。3名を超えてお越しの場合、会場に入れない場合がありますのでご注意ください。
- ・ 取材をご希望の方は、当日受付にお申し出下さい。

●会場案内

広島市中区東白島町14番15号 NTTクレド白島ビル13階
TEL: (082) 511-3927 FAX: (082) 511-3911



※説明会用に駐車場の確保はしておりませんので、公共交通機関をご利用ください。

平成 3 1 年度 入札・契約制度に関する説明会

(港湾空港関係：工事)

日 時：平成 3 1 年 4 月 1 1 日 (木) 14:00～15:00

場 所：中国地方整備局 港湾空港部 会議室

議 事 次 第

(案)

1. 開 会
2. 挨 拶
3. 説明会
 - (1) 平成 3 0 年度 入札・契約状況 (工事) について
 - (2) 平成 3 1 年度 入札・契約の対応方針 (工事) について
 - (3) 平成 3 1 年度 港湾整備事業実施における取組について
4. 質疑応答
5. 閉 会

平成31年度 入札・契約制度に関する説明会

(港湾空港関係：業務)

日時：平成31年4月11日（木）11:00～12:00

場所：中国地方整備局 港湾空港部 会議室

議事次第

(案)

1. 開会
2. 挨拶
3. 説明会
 - (1) 平成30年度 入札・契約状況（業務）について
 - (2) 平成31年度 入札・契約の対応方針（業務）について
 - (3) 平成31年度 港湾整備事業実施における取組について
4. 質疑応答
5. 閉会

平成31年度の入札・契約及び総合評価の対応方針について
【港湾空港関係】

参考3

平成31年3月13日に総合評価審査委員会(第二部会)において、平成31年度の入札・契約の対応方針について、ご審議いただきました。

これを踏まえ、平成31年4月1日以降に公告手続きを行う案件より、以下のとおり適用します。

【工事】

(1)競争参加資格要件の改善に向けた取組み

①技術者の施工経験における役職要件の緩和【中国独自】【見直し】

- ・品質低下の恐れがないと判断される工事については経験時の役職を問わないこととし、まずは標準的な技術的難易度の単一工種工事(浚渫工事、地盤改良工事等)において試行していく。

(2)総合評価落札方式における評価の改善に向けた取組み

①作業船の保有及び環境基準達成状況の評価【見直し】

- ・作業船を使用する工事を対象として、環境基準が制定された「平成22年7月以降に自ら新造した、環境性能を満足する作業船の保有状況」を加点評価する。
- ・また、保有している自ら新造していない中古船又は設置された全ての原動機を取り替えた船舶を対象として環境規制への対応状況を加点評価する。

②災害活動実績の評価【中国独自】【見直し】

- ・地域貢献度の評価項目に、災害活動実績に基づく中国地方整備局長からの「災害対策関係功労者表彰(港湾空港関係)の実績の有無」[過去3年間]を追加する。

③専門的な技術者資格の評価【中国独自】【見直し】

- ・平成31年度以降は、工事内容に応じて、より品質向上に資すると考えられる「専門的な技術者資格」を適切に加点評価していく。

④生産性向上に向けた評価テーマの設定【中国独自】【継続】

- ・完成した工事については、技術提案によって得られた効果の内容や程度等について検証を行い、今後の評価テーマの設定や発注内容の見直しに反映できるよう取り組みを進めていく。

(3)入札・契約手続きの改善に向けた取組み

①工事実績を証明する書類の簡素化【継続】

- ・書類削減による手続きの簡素化について、さらなる拡大を図っていく(入札説明書において省略の取り扱いを具体的に追記)。

②参加要件にかかる書類(工程計画表)の簡素化【中国独自】【見直し】

- ・平成31年度より、「工程計画表」(様式-3)の提出を不要とする。

③技術提案にかかる書類(施工実績)の簡素化【中国独自】【見直し】

- ・平成31年度より、提案した技術の施工実績を示す書面(様式-4)の提出を不要とし、提案の実現性(提案の施工実績)については、必要に応じ、技術提案書(様式-2)に記載することとする。

④作業船の保有等の評価にかかる書類(写真)の簡素化【中国独自】【見直し】

- ・平成31年度より、作業船の船名、原動機の型式番号が分かる写真の提出を不要とする。

【業務】**(1)プロポーザル方式及び総合評価落札方式における評価方法の改善に向けた取組み****①地域貢献度の評価【中国独自】【見直し】**

- ・一般競争入札総合評価落札方式の入札段階での評価において、企業の地域貢献度にかかる評価項目を追加し、災害協定の締結の有無及び災害対策関係功労者表彰(港湾空港関係)の有無を加点评価する。

②WLB等推進企業の評価【中国独自】【新規】

- ・プロポーザル方式の選定段階での評価において、WLBにかかる評価項目を追加し、認定を受けた企業等を加点评価する取組みを試行的に導入する。

③選定段階省略型プロポーザル方式の試行【中国独自】【新規】

- ・技術提案書提出者の選定段階を省略することにより、手続き日数の短縮(▲10~20日)を図る「選定段階省略型プロポーザル方式」を試行的に導入する。

④業務実績を証明する書類の簡素化【中国独自】【見直し】

- ・平成31年度より、業務実績情報システム(TECRIS)登録データによって、企業又は技術者の業務実績の確認に必要な全ての事項(概要、技術的特徴、担当した業務内容等)が確認できる場合、競争参加確認申請時等に業務実績を証明する書類の提出は不要とする。

以上